

数字で見る新東工業

100年企業を目指して

2025年3月31日時点

新東工業は、2024年10月に創立90周年を迎えました。1934年に鑄造機械メーカーとして設立され、表面処理や環境関連分野へと事業を多角化し、お客さまとの信頼を大切にしながら世界のものづくりを支えてきました。100周年に向けて、これまでに培ってきた強みを活かしながら、これからも新たな価値の創造に挑戦し続けていきます。

90年の歩みが築いた礎

リピート購入された
お客さまの割合

50.7%



装置をご購入いただいたお客さまに対して、修理・点検・予防保全などのアフターサービスの充実に取り組んできました。中期経営計画では、部品や消耗品などをリピート購入いただいたお客さまの割合を「部品カバー率」として指標化し、お客さまからの信頼度の向上を目指しています。

鑄造設備 累計出荷台数

1.2万台以上



祖業である鑄造設備は、国内外のお客さまに採用いただいております。世界トップシェアを誇っています。過去には経済産業省が選定する「グローバルニッチトップ企業100選」に選出され、独創的な技術で世界の鑄造業界をリードしています。

グローバル拠点数

23ヶ国・地域に
60拠点



1968年に海外法人第一号の拠点を台湾に設立して以来、グローバル展開を強化しています。“お客さまの設備を止めない”をモットーに、現地のお客さまを現地で支える体制を整備し、安定供給を図っています。

100年、その先も価値創造を 続けるための基盤

表面処理加工※

5.5m幅の造船用鋼板から
1mm以下の積層セラミック
コンデンサまで



当社の表面処理技術は、幅広い大きさ、および多様な材質の製品を加工することができます。2024年には欧州の表面処理関連企業2社を子会社化し、ますます幅広い産業での活躍が期待されます。

※金属球を投射して製品表面を加工する「プラスト工法」による加工技術

エコプロダクツ商品数

202種類



お客さまのものづくりにおけるCO₂排出量の削減を支援するため、環境に配慮した商品である「エコプロダクツ商品」の継続的な改良および新たな製品の開発に取り組んでいます。今後も商品数の増加を図り、より多くのお客さまにご活用いただけるよう努めていきます。

海外拠点における
経営者の現地化比率

90.6%



その地域に根差した経営を行い、各地でお客さまに密着した対応を展開するため、日々の経営は現地に任せています。統一された経営方針のもと、グローバルでの経営体制の強化に努めています。

仲間とともに築き、そして未来へつなぐ

創立90周年を迎えて

2024年10月12日(土)、創立90周年を記念し、「未来に向けて～共創と感謝～」をテーマに、「One Global Sinto」のコンセプトに基づき、社員およびその家族、国内外の新東工業グループ社員の約1,200名の参加のもと、記念イベントが開催されました。このイベントでは、親子でパラスポーツや体力測定、起震車(地震体験車)や消火訓練を体験し、親子間の絆を深めつつ楽しみながら多様性、健康経営、BCP(防災)への理解を深める時間を共有していただきました。

多様性を考える

東京パラリンピック・ボッチャ競技 ペア8位入賞の江崎駿選手や、パリパラリンピック・パワーリフティング8位入賞の佐藤和人選手を招き、パラスポーツを通して多様性への理解促進、様々な人との共生、障がいのある人への理解を深めるきっかけづくりをしました。

健康経営を考える

親子で体力測定に参加し、自身の体力の現状把握、健康意識の向上と行動変容を促す機会を提供しました。

防災(BCP)について考える

ご家族で参加いただき地震体験車で災害体験、消火器やAEDの使い方の訓練を通じて防災の重要性を学ぶ機会を提供しました。また災害発生時の事業継続計画(BCP)や防災備蓄品を紹介し、地域や自治体との連携の考え方を理解いただきました。

家族みんなが職場を理解

当社のものづくりと、社員家族に会社のことをご理解いただくために、社員も同伴して歴史(資料室)、製品(商品体感センター)、機械加工(機械工場)等、スタンプラリーを通じて学んでいただきました。

地域とともに

地元の食材を使った軽食やスイーツを提供するキッチンカーを招き、来場者に地域の味を楽しんでいただくとともに、食を通じて地域を知っていただく機会となりました。



ORIGAMI モザイクアートで ギネス世界記録®に認定

「One Global Sinto」のもと、国内外の社員とその家族が10,388枚の折り紙を使い、当日までに折った「太陽」で当社のシンボルマークのモザイクアートをつくり世界一の記録を達成しました。

折り紙を通じて異文化交流、家族間ならびにボーダーレスな仲間同士で絆、一体感を深める場となりました。



(写真左から) 永井社長、管理職の会代表、労働組合委員長

創立90周年記念 「共創の碑」建立

2025年4月、豊川製作所に創立90周年記念「共創の碑」が建立され、除幕式が行われました。このモニュメントは、丸、四角、六角が組み合わせ、精密なものづくりの積み重ねと、支え合って創り上げていく姿を象徴しています。積み重ねられた9つの形は上(未来)へと伸びる造形物として設計され、このモニュメントが未来志向的な出会いの場となり、全てが一丸となる空間の「柱」となることを目指しています。当社はこれからも仲間たちとともに、ものづくりの新しい価値を積み重ね、お客さまや社会のニーズに応えていきます。



共創の碑

トップメッセージ



代表取締役 社長執行役員

永井 淳

激動の時代に 仲間との結束を高め ともに未来を切り拓く

“グローバル化”で柔軟に変化に対応

当社を取り巻く経営環境の変化は激しさを増すばかりです。情報化の加速により、一人のインフルエンサーの言葉が社会に大きな影響を及ぼし、様々なフェイクニュースが世に溢れその真偽の判断も困難になる……これはもはや無視できない現実です。世界に目を向けると、ウクライナをめぐる緊張の長期化、中東情勢の激化など、依然として厳しい状況にあり、さらに各国の外交姿勢の変化により国際秩序は揺さぶられ、世界経済の不透明感が高まっています。こうした変化に対して、世界中で投資は様子見と懸念の声が拡がり、市場も敏感に反応を見せました。今後の政策の行方によっては、世界が分断され経済のブロック化が進むなど、地球規模での大きなうねりが起きています。今、当社はこの変化の局面に柔軟に対応するため、「One Global Sinto」のネットワークを活用し、これまで以上に地元密着の活動を強化し、お客さまや市場の動きを的確に捉えたいと

考えています。

1960年代よりグローバル化を積極的に進める当社は、現地パートナーとともに歩み続けることで、世界23の国と地域のお客さまより厚い信頼をいただいています。その根幹には「信頼の経営」があり、本社は事業に必要な資本と技術、そして知見を惜しみなく提供しながらも、経営戦略の策定など実際の舵取りは現地パートナーに任せる体制があります。彼らのマネジメントによりローカライズされた価値を提供することで、長期的な信頼関係を構築する。それこそが、「One Global Sinto」の思いであり、当社のグローバル事業の基盤となっています。

当社の主要な取引先である自動車業界がどのような方向にシフトしようとも、現地現物の考えを大切に、柔軟に対応してまいります。そしていつ如何なる場合にも適応する力を蓄えるため、グローバル化とローカル化を併存させる「グローバル化」をさらに加速させたいと考えています。

普遍的な価値を多くの仲間とともに実現

当社は経営理念に「HEART (Human Enrichment & Achievement through Reliable Technology)：信頼される技術を通して人間としての豊かさと成果を」、そしてミッションステートメントに「モノづくりの新たな価値を創造し、世界の仲間たちと感動の共創を実現します」を掲げています。この中にある「仲間」とは、ただの友人ではなく、同じ志を持つ友人のことです。この変化の激しい時代においては、仲間と共創しながら当社の強みをしっかりと発揮できる領域で事業を展開したいと考えています。

目的はいつの時代も変わらず、我々が提供した技術やサービスがお客さまのビジネスに貢献することであり、延いては社会課題を解決する、社会に認められる事業を運営することであり、サステナビリティ経営を展開することにあります。

廃棄物の削減をさらに強化するとともに、安全・健康を重視した作

業環境改善にも精力的に取り組み、環境にやさしい循環型社会を目指します。

人的資本経営としては仲間と共創して事業成長を果たす「新東イズム」を世界中へ発信するため、「切磋琢磨する仲間」「相談できる仲間」「一緒に成長できる仲間」を大切に、社員一人ひとりが技能を磨いてほしいと願っております。技能とは経験であり、その経験が皆の生きがいとなり、次世代の新東工業を育む。これが、当社の人事制度の根幹である「活人主義」の原点です。社員一人ひとりのやる気と成長を促進し、社員自身が培った能力を最大限に発揮できる“場”を提供することで、生きいきと働いてもらいたい。そして、会社を「人が成長するための舞台」と再定義することで、社員からも選ばれ続ける会社でありたいと考えています。またダイバーシティの観点では異なるバックグラウンドを持った社員一人ひとりの人権や個性を尊重する風土を醸成してまいります。



中期経営計画の進捗と今後の事業戦略

2024年度にスタートした中期経営計画では、『「共創」～新しい価値を求めて～地球とともに、仲間とともに、を掲げ「お客さまに選ばれ続ける」を主要テーマとしています。経過一年を振り返ると、誠実な対応で一社一社のお客さまを大切にするという意識は社内には十分浸透してきたように感じます。しかしここに至り世界経済の先行き不透明感が増したため、全ての計画の進捗に少しブレーキがかかっているというのも事実です。

当社グループが得た信頼と絆の証しとして「新規お客さま数」を重要な指標としており、着実に歩みを進めています。特に、昨年4月に仏・Elastikos社を、12月に独・AGTOS社を買収し、表面処理事業の強化を図っています。この欧州における2社の買収を通じて、装置・消耗材・アフターサービスをトータルで提供する「3魅一体」のビジネスモデルを展開することにより、収益確保と成長への両輪を加速させたいと考えています。

今後はさらに「仲間」と呼べる関係の強化に注力したいと考えています。同時に営業利益150億円を目標に、フリーキャッシュフローを活用しながら、事業領域「素材に形をいのちを」に投資をすることで、セラミックスをはじめとした多様な「形づくり」や、機能性を高める「表面づくり」の高度化を図り、成長市場への展開を積極的に実行してまいります。これにより先人たちが築き上げた資産を将来の成長につなげることでEBITDAマージンを8%以上、ROEを8%に引き上げたいと考えています。

「素材に形をいのちを」の展開による成長戦略

当社グループの事業領域「素材に形をいのちを」の展開に向け、「3つのづくり」とそれを支える「5つの技術」にフォーカスをあてて事業の進化を図っています。「形づくり」「表面づくり」「素材づくり」の「3つのづくり」は、半導体・電子部品、航空・宇宙、医療、自動車（EV）分野等の成長市場に展開しており、今後のさらなる事業拡大を見込んでいます。

「形づくり」は、当社の祖業である鋳造の型づくりにルーツがあります。近年、鋳造業界は大きな転換期を迎えており、当社はこうした変化に柔軟に対応しながら、もっと「いい鋳物づくり」の実現を目指しています。この目標に向けて、健康・安全を第一に、電力の見える化等による環境に配慮した、デジタル技術の付加により、安定品質と安定操業が確保された鋳物づくりに取り組んでいます。今後は、「いい鋳物づくり」の実現に向けた5つのステップを踏みながら進化を遂げ、鋳造システムの高度化の中で、廃棄物を出さない、もしくは廃棄物をリサイクルする技術を確立することで他社との差別化を図るとともに、持続可能な社会の実現にも貢献します。

その一環として、砂、金属、セラミックスなど多様な素材を活用した3Dプリンタによる形づくりに挑戦しており、自動車に加えて、半導体や航空・宇宙といった成長が著しい分野への展開も進んでいます。

また形づくりを支える基盤として「素材づくり」にも取り組んでおり、耐熱・耐腐食性に優れたセラミック粉末や、スマートフォンなどの電子部品の小型化に寄与する金属磁性粉末の開発に注力しています。

「表面づくり」は、表面処理事業のビジョン「もっと魅力ある表面をつくる」の実現を目指し、不純物落としやバリ取りといった、「けずる」「はがす」「あらす」「たたく」「とる」「みがく」といった多様な表面づくりを展開しています。現在では、材料の表面の質を変えるピーニングや微細加工、異種材料接合といった、機能性を高める「表面の機能性づくり」へ進化を遂げようとしています。さらに従来の金属球（投射材）を用いたブラスト工法に加えて、レーザー工法による新たな表面づくりを展開しています。

これら3つのづくりを支える5つの技術の高度化を進めます。ウェルネスマネジメントの考えのもと、火災を起こさない安全な作業環境、マスクを必要としない作業環境の提案を通じて、安心安全な作業環境づくりを提案する「環境技術」。現場の環境や設備の稼働状況が見える化する「IoT技術」。人間が行う微妙な力加減をロボットで再現し、作業の自動化や製造現場での人手不足解消に貢献する「ハンドリング技術」。表面の長さ・形状測定、材質変化の見える化により、ムダな加工を削減するセンサを組み込んだ「検査・評価技術」。カーボンニュートラル向け「電動シリンダ」によりCO₂削減に貢献する「エネルギー技術」。当社はこれらの技術のさらなる高度化を図

ることで、事業成長を一層加速させるとともに、社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

仲間とともに100年企業に向けて歩み続ける

昨年10月には創立90周年記念イベントを開催しました。目玉企画として、国内外の社員とその家族が折り紙モザイクアートに挑戦し、皆が力を合わせて折った10,388個の太陽で、縦7.2m×横7.2mの当社のシンボルマークを完成させ、ギネス世界記録®に認定されました。「One Global Sinto」のもと、社員一人ひとりが協力し合い、世界一を達成したこの経験は、私たちの絆と可能性を改めて実感する機会となりました。さらに、全ての折り紙には10年後の自分や家族宛のメッセージや夢が書かれており、創立100周年を迎える2034年に開封する予定です。そして100周年を迎えた時には、社員をはじめとするステークホルダーの皆さまと「よくがんばったね」と笑って肩を叩き合いたい。そのために、世界中の仲間との絆を深め、さらなる技術革新を進めます。そして次世代の経営者が思い切り羽を広げ活躍できる基盤の構築に、私自身全力で取り組んでまいります。



海外トップメッセージ



 U.S.A.
Michael Halsband
Executive Officer of Sintokogio, Ltd.
CEO of Sinto America, Inc.

先進技術の活用と環境配慮製品のご提案による競争力の強化

米国では行政権の集中化が進み、保護主義的かつ一方的な貿易政策が急速に実施されています。その結果、市場のボラティリティが高まり、2024年12月以降、消費者心理は30%以上低下しています。この影響で、特にサプライチェーン分野において、輸入品への関税やドル安によるコスト上昇、また一部のお客さまの設備投資控えなどの課題が生じています。しかし、2024年4月に開催された北米鋳造展示会「Cast Expo」では、米国経済の堅調さを背景に、サプライヤーやお客さまがリスクを管理しつつ、長期的な計画を進めている様子が見られました。当社はこの不確実な環境に対応するため、戦略を見直し、現状を乗り越える自信を持っています。自動化、システム監視、AIを活用した性能管理の分野での商品開発を強化するとともに、全自動造型ラインや砂処理システムなどの環境配慮型の新商品を提供することで、他社との差別化を図っていきます。



 Germany
Andreas Klein
President & Managing Director of Heinrich
Wagner Sinto Maschinenfabrik GmbH

変化に対応する力で、持続可能な成長へ

困難な時代には柔軟な対応が求められます。コロナ禍からの回復に伴い成長が期待されましたが、地政学的リスクやエネルギー価格高騰により、市場環境は再び厳しさを増しています。新設需要が減少する中、当社はアフターサービス事業を強化し、安定収益の確保に努めています。お客さま先への訪問サービスの拡充、コスト低減、部品生産の一部を中国、インドおよびトルコに移管するなど、機動的な体制を構築。また、青島新東機械有限公司（中国）による当社社員への研修を通じて、現地対応力の向上も図っています。今後も「お客さまに選ばれ続ける」存在として信頼に応え続けていきます。



 Mexico
Fabian Villarreal Hernandez
General Manager of Roberts Sinto
de Mexico, S. de R.L. de C.V.

好調な経済環境を追い風に、増大する需要に確実に対応

当社は2025年度第1四半期（1～3月）を好調に終え、中期経営計画「Plan 2025」に対して堅実な成果を上げています。米国との地理的近接により、新たな関税政策の影響を受けやすい状況にありますが、USMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）による低関税の恩恵や、質の高い労働力と競争力あるコスト構造を背景に、アジア・欧州からの投資が活発化しています。その結果、2025年第1四半期末時点でメキシコ国内の雇用率は0.8%の増加を記録しました。また、持続可能な社会の実現に向けて、環境改善や企業の社会的責任に関する取り組みも継続的に実施しており、「より良い世界」の実現に貢献しています。



 Brazil
Julius Nascimento
President of Sinto Brasil
Produtos Limitada

独自の取り組みにより、市場変化に対して積極的に対応

近年、当社はその技術革新と高品質な製品により、ブラジルおよび南米市場で存在感を高めています。近年の経済環境の変化の中で、原材料価格の大幅な変動、人材不足、新たな市場ニーズへの対応といった多くの課題に直面しながらも、それらを乗り越えてきました。当社は、調達先の多様化や新市場の開拓、新工場への投資、事業の多角化、新技術の導入を通じて、生産プロセスの最適化とコスト削減を図るなど、変化に対して積極的かつ柔軟に対応しています。これらの取り組みにより、地域社会やお客さまの期待に応えるとともに、より持続可能な未来の実現に貢献していきます。



 China
何 永武
青島新東機械有限公司 副總經理

QCD 向上を通じたお客さまとの「Win-Win」の関係の構築

2024年の中国のGDP成長率は5%となりましたが、製造業全体では低調な状況が続いています。EV、半導体、AI、5G、造船などの分野で成長が見られましたが、設備投資は減少傾向にあり、市場は厳しさを増しています。自動車分野では次世代自動車のシェア拡大により、ガソリン車用部品の需要が減少し、次世代自動車向け部品の需要が伸びています。また、環境規制の強化により、中小企業の淘汰が進み、業務が大手企業に集中する構造変化が起きています。こうした環境下で、当社は現地の競合との厳しい競争に直面しています。特にコスト競争力や技術面での差別化、納期対応が課題です。これらに対応するため、製品設計の最適化、購買プロセスの見直し、リードタイム短縮などを進め、デジタル化や自動化技術の活用に取り組んでいます。高品質なサービスを提供し、付加価値を高めることで、お客さまにご満足いただける「Win-Win」の関係を構築していきます。



 India
Arjun Bagri
CEO of Sinto Bharat Manufacturing
Private Limited

コスト削減と人材育成による持続可能な生産体制の強化

インドの鋳造業界は、様々な政府支援策によって铸件製品の国内需要が拡大しています。鉄道、建設機械、農業機械、自動車分野を中心に、国内生産体制の強化が求められ、安定した鋳造部品需要が生まれています。この成長を受け、業界全体の発展が期待されています。当社も堅調な受注残を維持していますが、原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇、為替変動など外部要因から厳しいコスト競争に直面しています。これに対応するため、原材料コストの削減や調達プロセスの見直しを進め、効率的で持続可能な生産体制を構築しています。また、当社では中長期的な成長を見据え、製造機能の強化と社員のスキル向上を進めています。特に、生型鋳造や静圧造型において、コスト競争力の高い製品供給拠点となるべく、人材育成と現場改善活動を推進しています。

経営理念

HEART

Human Enrichment & Achievement through Reliable Technology

「信頼される技術を通して人間としての豊かさと成果を」

私たち新東工業はものづくりの心を大切に、社会に貢献したいという想いから、創業間もない頃より世界に通用する技術を追求する歴史を歩んできました。その技術を通じ、お客さまとの信頼関係を築き上げ、ともに発展していきたいという想いを表現したものが経営理念である「HEART」です。これからも私たちは、技術を進化させることによりお客さまに、社会に貢献し続け、皆さまとの絆を深めてまいります。

Mission Statement

モノづくりの新たな価値を創造し、
世界の仲間たちと感動の共創を実現します

長期ビジョン

世界の仲間たちと感動の共創

VISION 01 モノづくりの誇りと自信を共有するグローバル企業集団

VISION 02 生きがい、働きがいを共有する人間集団

行動指針(社是)

1962年(昭和37年)10月、様々な困難を乗り越え、鑄造機械製造に企業生命を賭けて歩んできた不屈の精神と気風を明文化するため、次の3カ条からなる社是を制定しました。

01 われわれは、つねに堅実にして進取的な態度で事にあたろう

02 われわれは、つねに相互の信頼を深め果敢実行を旨としよう

03 われわれは、つねに至誠をもって社会に奉仕しよう



目次 Index

イントロダクション

- 02 数字で見る新東工業
- 03 創立90周年を迎えて
- 04 トップメッセージ
- 08 海外トップメッセージ
- 10 新東工業の理念

Section 1 価値創造

- 12 価値創造プロセス
- 14 マテリアリティ
- 18 中期経営計画
- 22 財務戦略

Section 2 事業戦略

- 24 事業領域「素材に形をいのちを」
- 25 3つのづくり
- 30 特集 表面処理事業のグローバル戦略
- 32 5つの技術
- 35 アフターサービス
- 36 研究開発・知的財産戦略
- 37 グローバル事業基盤

Section 3 サステナビリティ戦略

- 38 サステナビリティ経営
- 41 海外拠点のサステナビリティ活動
- 42 環境に対する取り組み
- 47 人材戦略
- 53 リスクマネジメント
- 54 コンプライアンス
- 56 ステークホルダー

Section 4 ガバナンス

- 60 コーポレート・ガバナンス
- 65 取締役会議長メッセージ
- 66 役員一覧

Section 5 コーポレートデータ

- 70 歩み
- 72 事業概況
- 74 財務・非財務ハイライト
- 76 11か年データ
- 78 ESG 5か年データ
- 80 会社情報・株式情報

編集方針

本報告書は、株主・投資家の皆さまをはじめとした全てのステークホルダーの皆さまに向けて、当社の中長期的な価値創造に向けた取り組みについて理解を深めていただくことを目的として発行しています。

本報告書の編集にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値協創ガイダンス」などを参考にしています。



価値協創ガイダンス
Guidance for
Collaborative Value Creation

将来見通しに関する注意事項

本報告書には、新東工業株式会社が現時点で入手可能な情報を基に将来の見通しや計画が記述されています。記述には潜在的なリスクや不確実性が含まれており、将来における実際の業績、事業展開と異なる可能性があります。したがって、将来の見通しや計画に関する記述は、正確であると保証されたものではありません。

ウェブサイト IR情報やサステナビリティ情報などを紹介しています。



株主・投資家の皆様へ
<https://www.sinto.co.jp/ir/>



対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日
一部、上記期間以外の情報も含んでいます。

対象範囲

新東工業グループ
(新東工業株式会社 および 国内外のグループ会社)

発行月

2025年 6月

表紙写真

2024年10月12日に開催された創立90周年記念イベントにて、国内外の社員とその家族が協力し、10,388枚の折り紙で制作した当社シンボルマークのモザイクアートです。世界一の記録を達成し、絆と一体感を深める場となりました。

